

「えびな郷土芸能祭」を開催 ～地域の郷土芸能を後世につなぐ～

10月25日(土)に海老名市文化会館大ホールで「えびな郷土芸能祭」を開催します。これは、市内で受け継がれている郷土芸能が一堂に会する2年に一度の舞台で、ことしで2回目の開催です。

公演では、市指定重要無形民俗文化財の「海老名の祭囃子(令和7年9月29日指定)」「大谷歌舞伎(昭和50年3月19日指定)」、県指定重要無形文化財「相模のささら踊り(平成20年2月5日指定)」などの出演があるほか、郷土芸能を後世に引き継ごうと、小・中学生や高校生も舞台に立ちます。

開演前の時間に隈取化粧実演と舞台バックヤードツアーのワークショップも開催します。

- 1 日 時 令和7年10月25日(土)
10時～12時:ワークショップ(隈取化粧実演、舞台バックヤードツアー)
13時～16時25分:舞台
- 2 場 所 海老名市文化会館大ホール(めぐみ町6-1)
- 3 出 演 上郷はやし連、大谷はやし連、海老名ささら踊り保存会・市立大谷小学校
3年生有志、県立中央農業高校和太鼓部、大谷芸能保存会歌舞伎部会
- 4 大谷歌舞伎の演目
「白浪五人男」(市立大谷小学校2・5・6年生)
「仮名手本忠臣蔵」七段目 祇園一力茶屋の場
- 5 その他 入場無料



大谷歌舞伎 (過去の公演の様子)



化粧実演ワークショップ (過去の様子)

◎この件に関するお問い合わせ

海老名市教育部教育総務課 電話046-235-4925